



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 フロイント産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6312 URL https://www.freund.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 若井 正雄 (TEL) 03-6890-0750

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	14,170	13.3	118	161.5	125	△5.1	54	—
2023年2月期第3四半期	12,504	4.3	45	△90.1	132	△73.1	1	△99.6

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 387百万円(△49.2%) 2023年2月期第3四半期 761百万円(47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	3.24	—
2023年2月期第3四半期	0.06	—

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期第3四半期△13百万円 2023年2月期第3四半期△12百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	23,858	14,187	59.5	839.46
2023年2月期	22,758	14,117	62.0	843.09

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 14,187百万円 2023年2月期 14,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.7	700	55.0	650	16.3	450	—	26.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	18,400,000株	2023年2月期	18,400,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	1,498,808株	2023年2月期	1,655,480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	16,805,071株	2023年2月期3Q	16,744,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られる一方、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、インフレ抑制に向けた各国の金融政策引き締め動きや中国景気の減速等により、景気への下振れリスクが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界においては、国内ではジェネリック医薬品を中心とした医薬品不足が長引いております。このような状況下、医薬品の安定供給に向け、国内大手ジェネリックメーカーを中心に工場新增設等の旺盛な需要は継続しております。

当社グループとしましては、こうした医薬品業界における需要増加に対し、安定的に製品供給を図り、社会的ニーズにしっかりとお応えすることにより、医療と健康に貢献できるよう注力しております。一方、海外では、アメリカ、インド、イタリア、中国に日本を加えたグローバル5極体制によるグループ・シナジーの追求、加速化を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績におきましては、売上高は141億70百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は1億18百万円(同161.5%増)、経常利益は1億25百万円(同5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円(前年同期は1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

ジェネリックメーカーの生産設備増強を中心に国内受注は引続き好調に推移する中、受注残高については180億12百万円と過去最高を更新しました。しかしながら、一部部品の調達や出荷までのリードタイムの長期化の影響を引続き受けている状況にあります。

また、前第3四半期連結累計期間においては、米国子会社では米国における労働需給の逼迫やサプライチェーンの混乱による部材調達の長期化の影響を受け、出荷が大幅に遅延し、業績は苦戦を強いられましたが、当第3四半期連結累計期間では出荷面の改善等により、着実に回復が進みましたが、しかしながら、過去に受注した案件にて納期長期化の影響から採算悪化となり、損失の計上を余儀なくされました。

この結果、売上高は90億56百万円(同16.4%増)、セグメント損失は76百万円(前年同期は2億63百万円のセグメント損失)となりました。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内大口ユーザーから生産増強に向けた受注が増えたこともあり、引続き過去最高の売上高となった前連結会計年度を上回るペースで進捗しております。

食品品質保持剤は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことを受け、インバウンドを含めた人流の回復もみられ、お菓子の需要は着実に持ち直してきている中、医薬品添加剤同様に売上高は前連結会計年度を上回るペースで進捗しております。

この結果、売上高は51億13百万円(同8.3%増)、セグメント利益は7億36百万円(同0.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億円増加し、238億58百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が6億94百万円減少したものの、仕掛品が17億円、原材料及び貯蔵品が85百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億29百万円増加し、96億71百万円となりました。増減の主な要因は、短期借入金が2億28百万円減少したものの、契約負債が8億18百万円、電子記録債務が3億65百万円、支払手形及び買掛金が1億43百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、141億87百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億35百万円減少したものの、為替換算調整勘定が3億20百万円増加、自己株式が73百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2023年5月8日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,917,128	3,229,230
受取手形、売掛金及び契約資産	4,915,548	4,220,685
電子記録債権	619,666	669,240
商品及び製品	760,326	913,745
仕掛品	2,717,692	4,418,501
原材料及び貯蔵品	2,108,285	2,193,671
前払費用	199,546	176,937
その他	647,052	703,928
貸倒引当金	△15,226	△17,840
流動資産合計	15,870,019	16,508,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,005,809	2,042,341
土地	1,145,522	1,147,510
その他（純額）	1,290,121	1,275,177
有形固定資産合計	4,441,453	4,465,029
無形固定資産		
ソフトウェア	32,499	24,444
ソフトウェア仮勘定	560,486	886,006
顧客関連資産	324,848	341,464
その他	49,621	41,240
無形固定資産合計	967,456	1,293,156
投資その他の資産		
繰延税金資産	366,398	453,131
その他	1,118,946	1,144,979
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,479,946	1,592,711
固定資産合計	6,888,855	7,350,897
資産合計	22,758,875	23,858,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,896,836	2,040,494
電子記録債務	833,521	1,199,212
短期借入金	896,092	667,260
未払法人税等	130,135	8,946
契約負債	2,913,026	3,731,356
賞与引当金	220,553	129,957
役員賞与引当金	17,185	23,700
その他	907,894	1,018,681
流動負債合計	7,815,246	8,819,609
固定負債		
リース債務	408,206	414,866
退職給付に係る負債	267,351	275,980
資産除去債務	67,263	67,362
役員退職慰労引当金	12,096	17,656
その他	71,522	75,613
固定負債合計	826,439	851,480
負債合計	8,641,685	9,671,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,899,999	11,564,886
自己株式	△773,363	△700,173
株主資本合計	13,451,750	13,189,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,992	47,191
為替換算調整勘定	612,727	933,070
退職給付に係る調整累計額	19,719	17,819
その他の包括利益累計額合計	665,439	998,081
純資産合計	14,117,189	14,187,908
負債純資産合計	22,758,875	23,858,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	12,504,922	14,170,273
売上原価	8,365,442	9,817,856
売上総利益	4,139,479	4,352,417
販売費及び一般管理費	4,094,193	4,233,989
営業利益	45,286	118,427
営業外収益		
受取利息	55	2,246
受取配当金	5,809	6,015
受取技術料	13,731	11,277
為替差益	81,472	29,590
その他	26,162	24,083
営業外収益合計	127,229	73,213
営業外費用		
支払利息	19,891	51,318
持分法による投資損失	12,192	13,663
その他	7,792	811
営業外費用合計	39,876	65,793
経常利益	132,640	125,847
特別利益		
固定資産売却益	13,967	149
特別利益合計	13,967	149
特別損失		
減損損失	6,693	—
固定資産売却損	1,124	—
固定資産除却損	37,672	17,282
投資有価証券評価損	27,812	6,240
特別損失合計	73,303	23,522
税金等調整前四半期純利益	73,304	102,474
法人税等	72,287	48,078
四半期純利益	1,017	54,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,017	54,396

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	1,017	54,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,426	14,199
為替換算調整勘定	753,441	305,160
退職給付に係る調整額	1,967	△1,900
持分法適用会社に対する持分相当額	12,909	15,182
その他の包括利益合計	760,892	332,641
四半期包括利益	761,909	387,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	761,909	387,038

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

一部の在外連結子会社における棚卸資産の評価方法について、従来、先入先出法による低価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法による低価法に変更しております。

この評価方法の変更は、システムの変更を契機に評価方法を見直したことに伴うものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,783,433	4,721,488	12,504,922	—	12,504,922
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,783,433	4,721,488	12,504,922	—	12,504,922
セグメント利益又は損失(△)	△263,334	742,190	478,856	△433,569	45,286

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△433,569千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
8,167,784	1,068,220	937,467	761,099	1,439,415	130,935	12,504,922

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,056,788	5,113,485	14,170,273	—	14,170,273
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,056,788	5,113,485	14,170,273	—	14,170,273
セグメント利益又は損失(△)	△76,653	736,637	659,984	△541,556	118,427

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△541,556千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
8,418,772	1,259,034	1,929,435	807,363	1,154,213	601,453	14,170,273

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル、メキシコ等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東、アフリカ等

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	機械部門	化成品部門	合計
日本	3,716,114	4,451,670	8,167,784
米国	1,068,100	120	1,068,220
中南米	937,467	—	937,467
欧州	590,053	171,045	761,099
アジア	1,340,763	98,652	1,439,415
その他	130,935	—	130,935
顧客との契約から生じる収益	7,783,433	4,721,488	12,504,922
外部顧客への売上高	7,783,433	4,721,488	12,504,922

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	機械部門	化成品部門	合計
日本	3,508,025	4,910,747	8,418,772
米国	1,259,034	—	1,259,034
中南米	1,929,435	—	1,929,435
欧州	728,625	78,737	807,363
アジア	1,035,008	119,205	1,154,213
その他	596,658	4,795	601,453
顧客との契約から生じる収益	9,056,788	5,113,485	14,170,273
外部顧客への売上高	9,056,788	5,113,485	14,170,273

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	11,655,332	109.8	13,747,604	118.0

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	15,365,269	159.6	18,012,587	117.2

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	7,783,433	62.2	9,056,788	63.9
化成品部門	4,721,488	37.8	5,113,485	36.1
合計	12,504,922	100.0	14,170,273	100.0

- (注) 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。